

「不思議」との出会い

敷地：名古屋市千種区富士見台 2-1
構造：RC 壁構造 建蔽率：38%

「探究」する喜び



テーマ：「プロジェクト型学習」

プロジェクト型学習とは児童が自分の興味に基づいたテーマに関して、自分でもしくはグループで手段を考え探究する学習形態である。この学習形態の実現のためには、児童が「疑問・興味・関心を得られる空間」と「それぞれの児童に適した探究空間」が必要と考える。

1. 見える

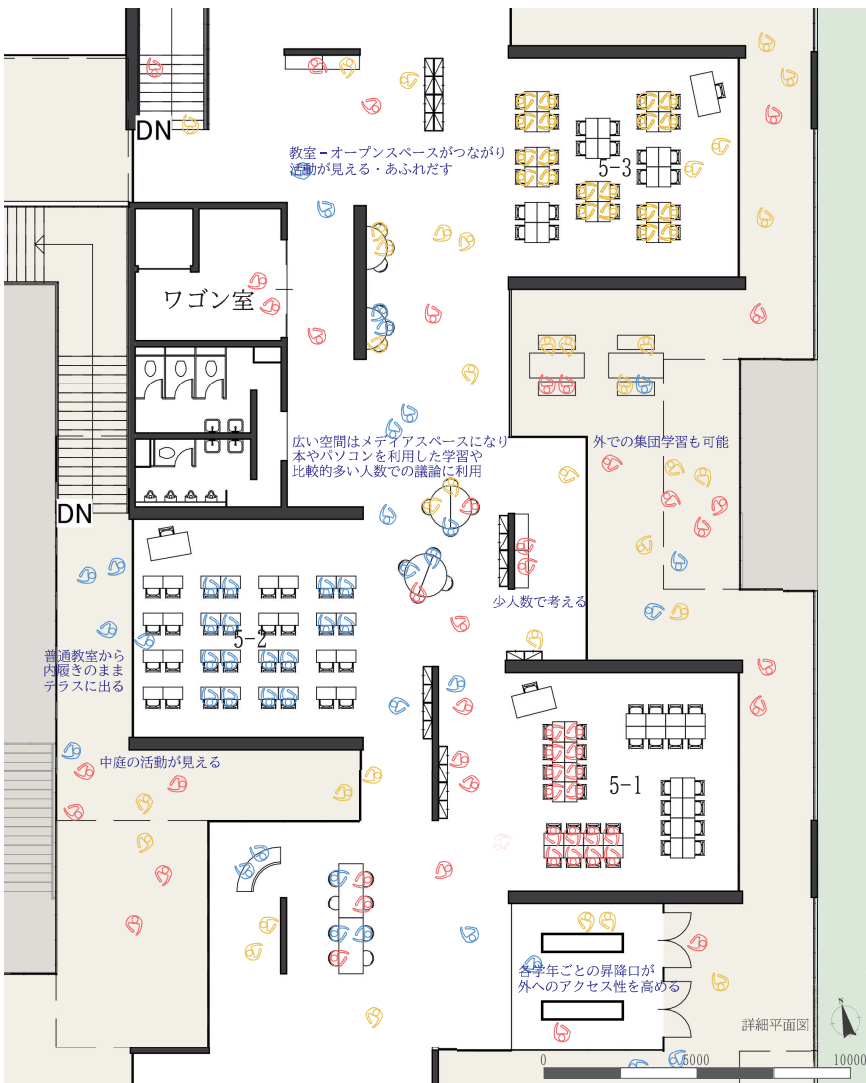
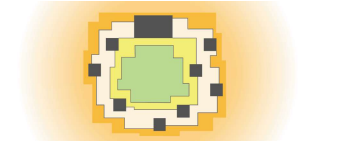
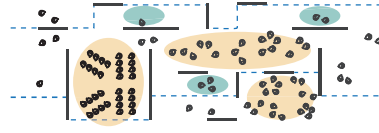
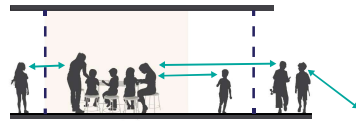
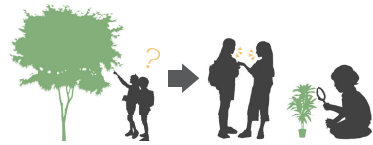
開放型の教室にすることで他のクラスや特別教室での活動が見える。また、中庭にはあらゆる方向からの視線が通り、学校・地域の発表の様子が見える。これらが児童の新たな興味を引き出す。

2. 集う・散ずる

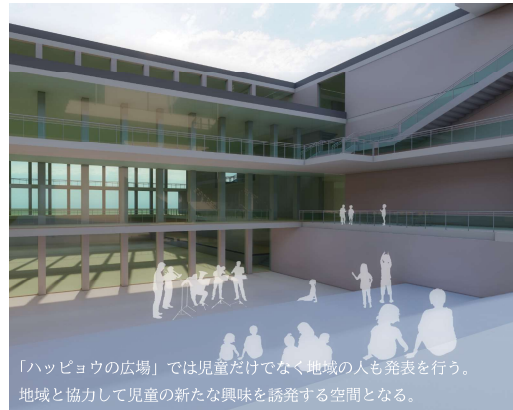
壁柱の配置によって大小さまざまなスケールの空間が形成される。それぞれの児童の個性に合った探究方法（少人数で探究、メディアセンターに集まって探究）が可能となる。

3. つながる

2重の屋外テラスと中庭が小学校全体をつなぎ、その中に多様な学習と結び付けたスペースが存在し、児童は歩く中で不思議を発見し、探究する。外周のテラスは地域と学校を結ぶ役割も持ち、地域と一体となった学習が期待できる。



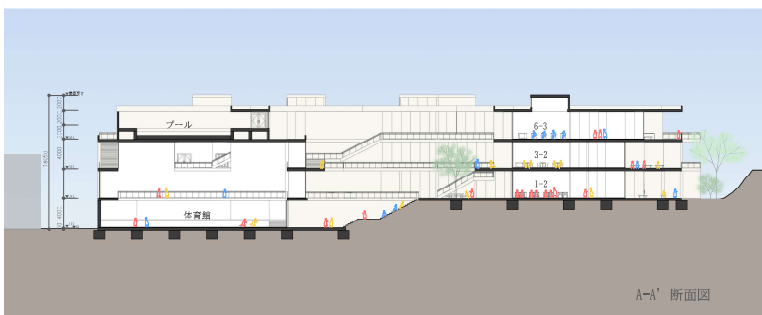
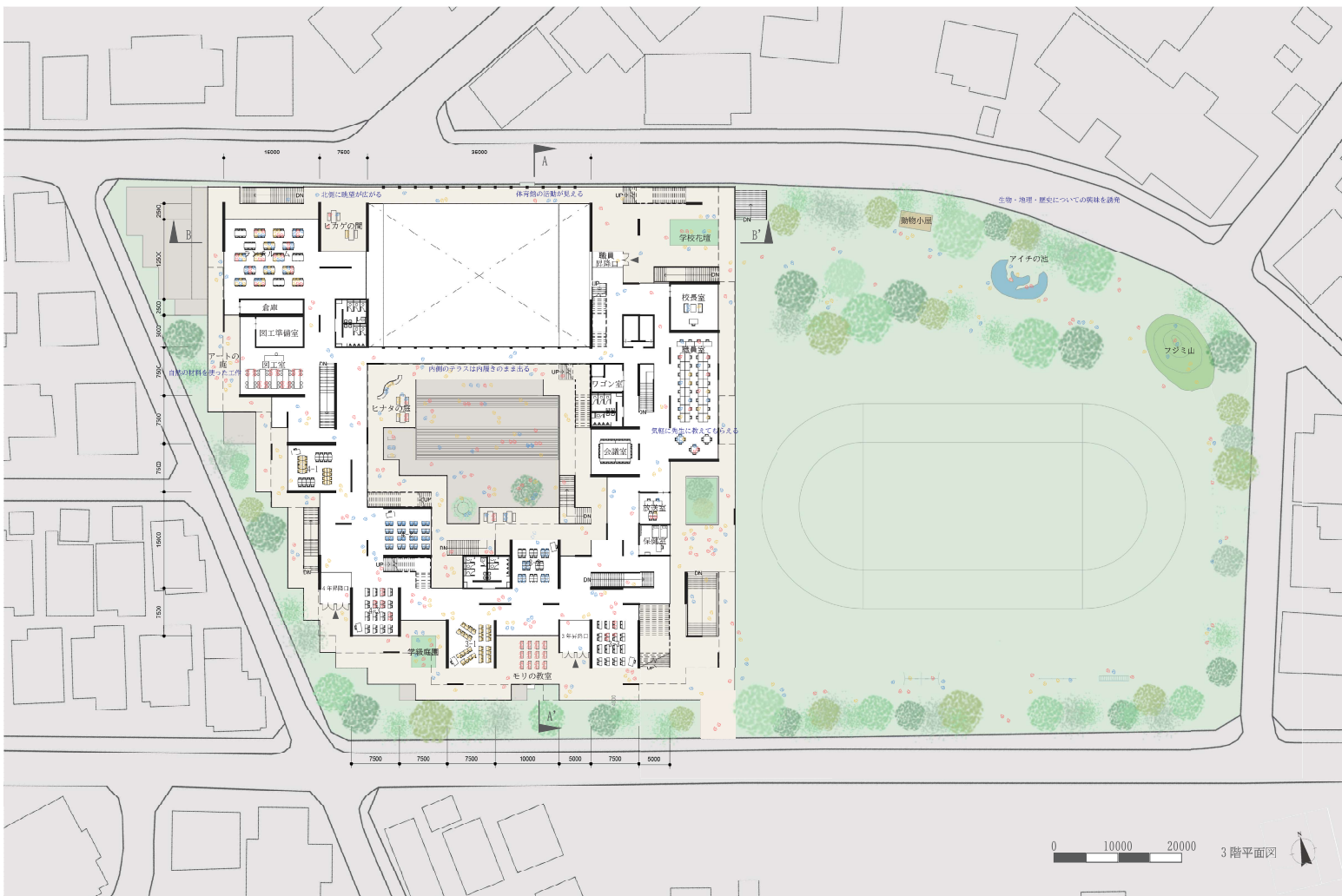
学校全体がテラス・中庭によってつながられている。
中庭への視線の通りが確保されており、中庭での発表の様子がよく見える。



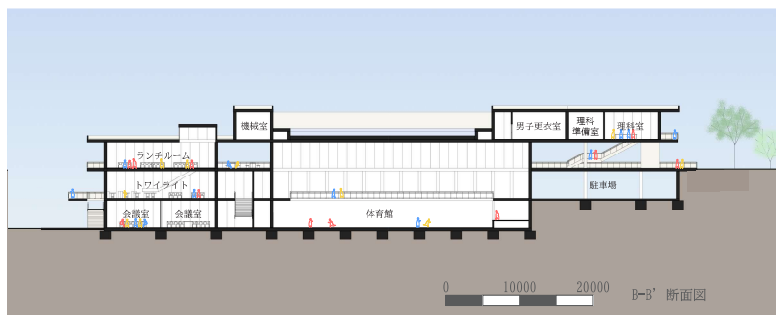
「ハッピーの広場」では児童だけでなく地域の人も発表を行う。
地域と協力して児童の新たな興味を誘発する空間となる。



学校全体をつなぐテラスには多彩な特色を持った空間が多くあり、
児童にとって発見・探究の場となる。



A-A' 断面図



B-B' 断面図